

入賞

一般建築物の部

建築主：睦沢町
むつざわスマートウェルネスタウン株式会社

設計：パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工：株式会社 畔蒜工務店

～自然と調和し、地域の特性を活かした道の駅～

所在地：長生郡睦沢町森字上耕地2番1

むつざわスマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷

長生郡睦沢町に造られた「むつざわスマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷」は、自然に恵まれ、特に周辺には山林が多い敷地にふさわしく、景観に考慮した平家造りとし、高さを抑えて自然と一体となり、内外に木質系の材料が使われていて潤いと安らぎの空間になっている。

施設の利用者は、車だけではなく茂原駅や上総一ノ宮駅からのバスも利用出来るのはありがたい。

同敷地内に地域優良賃貸住宅もあり、居住者にも利用性の高い交通アクセスとなっている。

施設は、道の駅として地元野菜などの直売所、温浴施設、飲食施設、花卉室等が中央エントランスホールから利用しやすく計画されている。また、この建物には地場産の天然ガスによるコージェネレーションシステムが設置されていて停電時でも施設内の電力や温泉施設の昇温用の熱の供給が可能で、令和元年の台風で町が全面停電した際も町民に無料でシャワーが提供された。



明るく、温かみのある
情報ギャラリー・くつろぎ空間

災害に対しては、防災広場、防災倉庫の設置等含めてしっかりとした対策が考えられている。

建物の名称の様に、多目的な用途をもつものが配置されたゾーニングが、敷地の活用及び周辺に対する優しさや目的を表している。

この施設は今後、多くの人に愛され活用されることと思う。昨今、自然災害が多い中、この様な施設が数多く建設されていく事を期待している。
(竹江 文章)



緑に映える白を基調としたシンプルな建物全景

入賞

一般建築物の部

建築主：東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社

設計：東日本旅客鉄道株式会社千葉一級建築士事務所
株式会社 JR東日本建築設計

施工：鉄建建設株式会社 東京鉄道支店

～来訪者を包む杉の香～

所在地：銚子市西芝町1438

銚子駅舎

銚子駅は総武本線の終着駅で、現在1日の利用者数が3,000人強の小規模駅舎だ。塩害にさらされる立地のため、木造を選択している。改札を出ると清楚な木の空間が迎えてくれる。

特に、幅が4m弱、天井高8mほどで、20m以上長く延びるラチ内コンコースでは、壁一面に広がる山武杉ささらご張りが、絞られて上から注ぐ自然光を受けて美しい。節が多く淡紅色の濃淡が強い材を、人の手の触れない上部に配したというが、それが効果的。片隅に置かれた駅ピアノの奏でる音と杉の香があいまって、思わず深呼吸したくなる。駅ができた後に地元の方からピアノを提供したいとの申し出があって設置したのだという。線路沿線では、倒木未然防止などのために樹木を伐採しているが、それらを建材として待合室の壁面の一部に用いている。

長年人びとに親まれてきた建て替え前の駅舎は、旧海軍の香取航空基地格納庫を転用したものだった。今回の建て替えにあたり、旧建物の一部をバックヤード的用途に改修して残している。その特徴的な構造が、新駅舎との間の広場から見えるようになっている。

今回は、「偶然降り立ち、とても心地よい空間が印象に残りました」と、一県民の方に推薦していただいた。建築とは、そこを歩き交う人たちに育てられていくものだと実感させられた。

(岡部 明子)



外観北東面夜景



ラチ外コンコース